

週刊

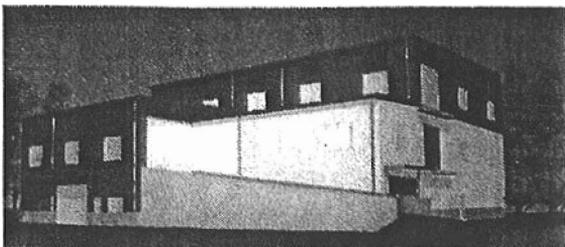
# 循環経済新聞

## The Recycling Economy Times

### 「紙おむつto紙おむつ」を事業化

## 8月にも大牟田で工場完成

### トータルケア・システム



紙おむつリサイクル工場「ラブ・フォレスト大牟田」の完成予想図

トータルケア・システム 県、市、経産省から計2億6000万円の補助を受け、処理能力は日量20トンの。処理能力は日量20トンの。用 地面積は3200平方メートル。大牟田市の構造改革特区適用第一号企業として、土地 大牟田市内に専門工場を建設する。8月内の完成、9月からの稼働を予定している。使用後の紙おむつを再生 事業は、国内では初のケースとなる。

る。し尿や汚物を排水処理した後の水も循環利用される。パルプは再び紙おむつの原料に、劣化したパルプや吸収剤を含む汚泥は土壌改良材などに、不織布とフィルムは燃料に利用できるため、ほぼ100%の再生率を達成したという。

量1トンの実証装置を設け、事業化の準備を整えた。長社長によると、同様の事例は、海外ではオランダで紙おむつの回収パルプを段ボール原紙に利用する事例があるが、回収パルプを再び紙おむつに使用する「おむつtoおむつ」リサイクルは、世界でも他に例がない、とのこと。高齢化が

ア、紙おむつメーカーのユニ・チャーム、福岡県内の医療機関9病院などが共同出資、設立した新会社。焼却処分代替わる環境配慮型事業として、紙おむつの納入、回収、運搬、再生品の販売まで対応したネットワークの構築を目指す。



紙パルプやプラスチックなどの回収サンプル

進む日本では、紙おむつの需要は年間10%以上増え、生産費は年間34万トンにも上っている。

トータルケア・システムは01年に医療・福祉用品を取り扱うケア・ルートサー・ビスやウタキ・ユー・セイモ